

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成23年9月29日 (2011.9.29)

【公開番号】特開2010-175878(P2010-175878A)

【公開日】平成22年8月12日 (2010.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-032

【出願番号】特願2009-19085(P2009-19085)

【国際特許分類】

G 0 3 F 7/027 (2006.01)

G 0 3 F 7/004 (2006.01)

G 0 3 F 7/031 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

C 0 9 B 67/22 (2006.01)

C 0 9 B 47/04 (2006.01)

【 F I 】

G 0 3 F 7/027 5 0 2

G 0 3 F 7/004 5 0 5

G 0 3 F 7/031

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 B 5/22

C 0 9 B 67/22 A

C 0 9 B 67/22 Z

C 0 9 B 47/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月15日 (2011.8.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 7 4 】

本発明における特定重合性化合物の具体例を下記に挙げるが、これに限定されるものではない。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 8

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 9

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 4

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0174】

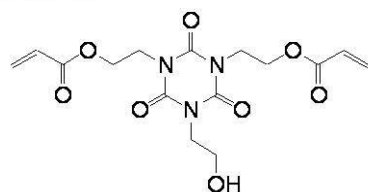
組成1において、顔料分散液、重合性化合物を表1のように変更し、それ以外は比較例1と同様にして、実施例1～6、および比較例2～6のそれぞれの着色感光性組成物を調整した。

なお、表1で顔料分散液の欄の印は、用いた顔料分散液を示す。また、重合性化合物については、その添加量は「質量部」で表1に示し、用いた特定重合性化合物の二重結合密度は「meq/g」の単位で表1中に併記した。重合性化合物のDPHAは比較例1の組成1で示した日本化薬社製 商品名：KAYARAD DPHAであり、本発明の特定重合性化合物に包含されない他の重合性化合物である。

また、比較例2～4で用いた重合性化合物は、下記に示す化合物A-12～A-13、および化合物A-14（混合物）である。なお、化合物A-14の混合比は質量比であり、A-14の二重結合密度は、ヒドロキシ基を有する化合物A-14-bの二重結合密度を記載したものである。

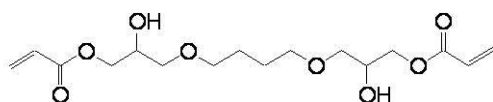
## 【化16】

化合物A-12



Mol. Wt. : 369.33

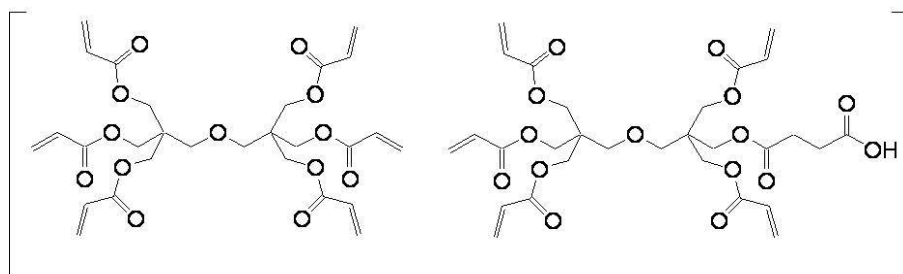
化合物A-13



Mol. Wt. : 346.37

## 【化17】

化合物A-14



A-14-a

A-14-b

Mol. Wt. : 578.55

(7:3)

Mol. Wt. : 624.58

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0175

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0175】

【表 1】

	顔料分散液				重合性化合物			DPHA
					特定重合性化合物または比較化合物			
	PG58	PG36	PY150	PY138	種類	量	二重結合密度	
実施例 1	○		○		A-1	3. 58	10. 1	
実施例 2	○		○		A-1	2. 65	10. 1	0. 93
実施例 3	○		○		A-4	3. 58	10. 6	
実施例 4	○		○		A-5	3. 58	10. 5	
実施例 5	○		○		A-9	3. 58	10. 7	
実施例 6	○			○	A-1	3. 58	10. 1	
比較例 1	○		○					3. 58
比較例 2	○		○		A-12	3. 58	5. 54	
比較例 3	○		○		A-13	3. 58	5. 78	
比較例 4	○		○		A-14	3. 58	8. 01	
比較例 5		○	○		A-1	3. 58	10. 1	
比較例 6		○	○					3. 58